

例会のお知らせ

7月の例会

第3回高層気象シンポジウム

日時：昭和36年7月20日（木）10時より

場所：気象庁第1会議室

講演題目（要旨は209頁）

1. 大井正一（気象庁高層）：高層気象の日変化（2）（30分）
2. 大井正一（気象庁高層）：上層層の日変化（20分）
3. 大井正一（気象庁高層）：100mb以上の風（2）（20分）
4. 新井英次，中野宗男，中村 繁，山田 一（気象庁高層）：高層偏東風帯について（1）（30分）
5. 迎 正秋（気象庁高層）：日本の大気上層に於ける水蒸気の移流について（20分）
6. 角 俊治（高層気象台）：気球上昇速度の台風解析への利用（20分）
7. 鹿野 到，折口忠夫（鹿児島地方気象台）：エコーレーウィーンとゾンデの高度の比較（20分）
8. 矢田 明（気象庁南極）：昭和基地に於ける上高層観測について（30分）
9. 関口理郎（気象庁高層）：オゾン観測結果について（10分）
10. 清水正義（気象庁統計）：オゾン鉛直分布を計算する Method A の検討と我国各地のオゾン鉛直分布の季節変化（20分）
11. 内川規一（気象庁高層）：高層における電気伝導率および電位傾度の変動について（15分）
12. 北岡竜海（気象庁高層）：I Q S Y の観測計画（30分）

梅雨についての研究発表とシンポジウム

日時：昭和36年7月21日（金）10時より

場所：気象庁予報部会議室（中村記念館）

内容：

- (1) 研究発表（10時～12時） 座長 松本誠一
 1. 久保木光熙，朝倉 正（気象庁長期）：北半球上層天気図からみた梅雨期の降水について（20分）
 2. 朝倉 正（気象庁長期）：偏西流と入梅との関連（20分）
 3. 藤井辰男（気象庁予報）：梅雨の予想（続）（15分）
 4. 佐藤和敏（気象庁長期）：高層平均図からみたつゆあけ（20分）
- (2) シンポジウム 座長 石原健二
 1. 山田直勝（東京航空気）梅雨研究の歴史（20分）
 2. 大塚竜蔵（気象庁予報）梅雨のパターンについて（今年の梅雨の入りについて）（20分）
 3. 宮内駿一（気象庁予報）：短期予報より見た梅雨について（20分）
 4. 毛利圭太郎（気象庁予報）：週間予報の立場より見た梅雨について（20分）
 5. 須田 健（気象庁長期）：上層平均場からみた梅雨（20分）

昭和36年度例会

例会は第1部と第2部とから成っています。

第1部 一般研究発表

第2部と同日に行ないますから講演題目，要旨，所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して下記へ申し込むこと。

宛先 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井 一郎

第2部 選定題目講演会

次のスケジュールに従って行われます。

名 称	日時	申 込 締 切 日	受持委員その他
山の気象	6月	4/30日	高層課：大井
乱流と低層気象	6月	4/30日	測器課：竹内
高層気象	7月	5/31日	高層課：大井
梅雨について (数値予報・綜観気象)	7月	5/31日	研究所：松本 予報課：石原
気象学史と気象教育	8月	6/30日	研修所：渡辺
生気候	9月	7/31日	研究所：神山
大気汚染	9月	7/31日	研究所：神山
気象災害	10月	8/31日	研究所：渡辺
台風について (数値予報・綜観気象 ・災害・レーダー)	11月	9/30日	研究所：松本 予報課：石原 研究所：渡辺

名 称	日時	申 込 締 切 日	受持委員その他
風のシンポジウム	11月	9/30日	測器課：清水
気象電気	12月	10/30日	研究所：今井
気候	1月		長期予報：朝倉
太陽活動	1月		長期予報：朝倉
気象統計	1月		長期予報：朝倉
観測と測器	2月		測器課：清水
大気大循環	2月		予報課：石原
長期予報	2月		長期予報：朝倉
前線について (綜観気象・レーダー)	3月		予報課：石原
航空気象	3月		東京航空：上松